

南スーダン独立後初の総選挙に向け、つくば市での投開票をお手本に！

南スーダンからの研修員が12月11日(日)の茨城県議会議員選挙を見学

東アフリカに位置する南スーダンは、2011年のスーダンからの分離独立以降、度重なる国内の紛争により、不安定な国政が続いていました。そんな中、2018年に和平合意が締結され、2024年末に独立後初の総選挙が実施される予定です。国を挙げての初の選挙へ向けて、つくば市での実際の選挙を「お手本」として見学します。

国際協力機構(JICA)は、南スーダン共和国に対する政府開発援助(ODA)として、民主主義の根幹となる選挙を自由で公平なものにするため、「選挙管理支援」についての本邦研修を11月30日(水)から12月16日(金)まで実施します。参加する研修員(12名)は、選挙管理委員や事務局長をはじめとする南スーダン選挙管理委員会の責任者や南スーダン公共放送局¹の職員です。彼らは、初の総選挙への準備として、日本の選挙の歴史や知見について学びます。

研修の一環として、12月11日(日)投開票の茨城県議会議員選挙の機会に、つくば市選挙区で投票所の仕様や有権者の投票の現場を見学し、選挙が安全かつ公平に行われていることを学びます。また、開票の対応についても見学し、市民の声を直接県政に反映するための選挙の仕組みについて学びます。

研修期間中は講義やディスカッションを通して、日本での選挙や主権者教育、メディアによる報道の仕方について学ぶ機会を十分に設けています。これらの座学に加えて、今回の見学は、実際の選挙を自分の目で確かめることでその学びを深め、自国の選挙に活かすことができるよう、つくば市やつくば市選挙委員会及び事務局など、関係の皆様の協力を得て実施します。

初の総選挙に向け、つくば市での選挙をお手本に学ぶ機会について、取材をぜひご検討ください。

【取材概要】

(1) 日時: **2022年12月11日(日)**

時間	場所	概要
16:00~17:00	つくば市市役所本庁2階	投票所見学(設備や投票の様子)
19:00~21:00	桜総合体育館	開票所見学(開票作業を参観席から)

(2) 留意事項:

- ・対応可と確認できた研修員(当日JICAよりお伝えします)への撮影・取材が可能です。
通訳(日・英)はJICAが対応します。
- ・投票所見学において、投票者の方の顔を撮影することはお控えください。
- ・開票所見学において、対応可研修員以外の参観者を撮影することはお控えください。
- ・当日のつくば市、つくば市選挙委員会関係者の方への取材・撮影は、調整いたしますので、事前にご希望をお知らせください。

¹ [南スーダン放送局組織能力強化プロジェクト | ODA見える化サイト \(jica.go.jp\)](https://www.jica.go.jp/project/sudan/)

現在はプロジェクトのフェーズ2を実施中

【本件に関する取材申込み・問い合わせ先】

ご取材いただける場合、12月9日(金)正午までに、以下にご連絡ください。

JICA 東京 産業開発・公共政策課 船越陽香

TEL 03-3485-7635 e-mail: Funakoshi.Yoka@jica.go.jp